

例会報告

第2400回例会報告議事録

日時 27年9月15日(火曜日)

場所 川村学園女子大学 我孫子キャンパス内 会議室

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「それでこそロータリー」

ゲスト:なし

S.A.A.:高島会員

会長挨拶

瀧日会長



先週、常総市にて大変な災害が発生いたしました。おそらく近々義捐金のお願いが来るかと思えます。その際は皆さんよろしく願いいたします。

それから本日の例会は2400回です。幹事の丸田さんが特別なデザートを用意していただきましたので食事の際に召し上がってください。

親睦委員会報告

木村委員長

澁谷会員、お誕生日おめでとうございます。



澁谷会員より

ずっと欠席しましたので今日誕生祝いをいただきました。7月18日が誕生日ですので今日で79年と2か月程になります。有難うございました。

出席報告

渡邊委員長

15名出席(全員で24名) 出席率62.5%

幹事報告

瀧日会長(代理)

・松戸東RCよりクラブ活動計画書受理

卓話「親父の話」

高島会員



私は今まで家族の話をしたことがないのですが、今日は親父の話をしてみたいと思います。

親父には小学校1年の時に初めて会いました。4歳の時に実の親父が亡くなり、6歳の時に母親が再婚し、ついて行った再婚先にいたのが親父でした。

完全に農家のおとっつぁんでした。子どもの頃はなんて嫌な親父だと思っていた。継子いじめがひどかったのです。

私と2つ違いの姉が後妻についていったのですから、邪魔な存在です。ことあるごとに継子いじめでした。本人は意識して継子いじめをしたと年をとってから言っていました。そういう環境に小学校1年から19歳までいました。

でも大人になって、その当時の親父のいやらしさが、すごく有用な教えとして残されています。子どもの頃は文句だと思っていたが、大人になってからは教えだと理解しました。

まず「返事」です。「はい」と返事をした時、「い」が終る前に立っていないと怒られました。要するに返事をしたら即言われたことをやれ、ということでした。

二つ目は小便の話です。母親は相手の経済状況もわからずに再婚しました。子どもでも田畑の仕事がありました。あれしろ、これしろと用を言いつけられるのですが、小便をしても、言われたらそこで止める、言われたことをやってから又小便をしろと言われてました。

水上町の方で二毛作をしていて、米を作っていない時は麦を作っていました。麦を刈ると上に向けてとんがっています。掘り起こした所に水を入れて、牛に鉄の棒を引かせて塊をくたくたなのですが、牛を引く作業をすると子どもの足だと麦がささり血が出ました。

10歳上の義理の兄がいたのですが、この人は結核のような体で農作業が出来る程の体力はありませんでした。

田植えをする時は、田植え人足という人達が来ました。みぞれが降る中では子どもはぶるぶる震えながら作業をしました。午前の仕事が終わって、昼飯は家に帰って食べました。歩き始めると、歌を歌えと言われてました。田植え人足はどこの家にも行くので、うちに来た時に来てよかったなと思えるようにもてなせ、ということでした。そうすると、午後の仕事ももっと身を入れて作業をしてくれるというのでした。寒さでがたがた震えているのに歌いました。

田の草取りという、草取りの作業がありました。草をかきながら指で根を切って苗を抜きました。稲は1本の所から最終的には20本くらいに増やせます。田の草取りと言う作業はそのための作業でした。1本1本丁寧にやらなければならないのですが、稲が目に入り嫌でした。

沼田に真田一族というのがいましたが、4代か5代の殿様が相当の悪政をひいて没落しました。その時に江戸に直訴に行ったのが杉木茂左衛門(すずき もざえもん)という人でした。聞き入れられて帰ってきたのですが、捕まってはりつけになりました。江戸幕府から杉木茂左衛門を助けろと早馬で来たのですが、もう少しの所ではりつけになってしまいました。そのために真田一族の殿様はお家断絶になりました。茂左衛門地蔵というのがあり、春分の日と秋分の日にお祭りがあります。その2回と正月の3回しかおこづかいはもらえませんでした。ほんのちょっとのお金とはいえ楽しみにしていましたが、そういう日の次の日は、楽しんできた後は働け、と過酷な仕事が待っていました。何か楽しんできた後は、必ず大変な仕事が待っていました。

私はうちで勉強したことがありません。勉強をすると電気代がもったいないと勉強させてもらえませんでした。中学を卒業したら進学せず、すぐ働いてほしかったのでした。それに対して、お袋は最低でも高校まで行かせなくちゃと思っていました。家では勉強はできないので、学校にいる時に、先生の言うことは一言ももらさず聞いてメモし、子どもにもノートを見せろと言ったりして自分のノートを確認していました。家で勉強したら必ず邪魔されました。今、自分の孫たちが盛んに勉強しろと言われていますが、羨ましいのか可哀想なのかわかりませんが、私はそういう環境に育っていました。

地元16人对疎開ッ子3人で毎日のように抗争があり、勝つ為に5年生から柔道を始めました。家の中で義理の兄とかに変な言われ方をされたくないというのもあって強くなろうと思いました。10年上の兄貴はすぐ物を持つんですが、平気でした。

幸いなことにぐれることはありませんでした。何かやるとお袋がいじめられたからです。やるなら、徹底的に親にクレームがつかないようにしました。ケンカはよくやりましたが、絶対に顔は叩かずボディを叩きました。

19になって、1年浪人し、ある会社が来ないかと言ってきて、会社と学校と同時に行くことができました。

我孫子に来て、ある程度、親を面倒見れるようになった時、老人部屋を作りました。お袋だけでも引き取ろうと思ったら引き取る前に死んでしまいました。7、8年前に年に2回、1ヶ月ずつくらいお袋をうちに引き取って、その時に親父もついて来るのですが、3日くらいすると帰りたいだったのでした。なぜかと聞くと、俺は継子いじめをしたからとはっきり言う人です。

親父の教えを忠実に守ることで、いかに世の中から受け入れられたかということです。僕は柔道部でいじめられたことがありません。何かの集まりがあると、まずお茶を入れるとか、弁当配りをするとか、すぐにやる方です。最近は何でもあまりぱっと動きませんが、今でもやります。

サラリーマンになっても、上役が外国に行く時、一緒に行く部下として、外国語も辞書を引くくらいしかできない僕を指名してくれました。要するに木下藤吉郎だったのです。

父親の継子いじめが僕の間人形成において、いかにいい教えになっているか。継子いじめ的な教育が僕を作っている一番の元になっているんじゃないかと、10年、15年前から感謝しています。

返事の話、小便の話、田植えの話、草取りの話、楽しんで後は働けという話、この5つの教えが、群馬県の上毛倶楽部で中心的にやらせていただいたり、いろんな所で生きています。

今日は真面目な話になってしまいました。自分の話はいやなのですが、お話ししました。

瀧日会長より

高島会員という人を理解する、非常に参考になったという気がします。

おもしろい話でした。ありがとうございました。

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
澁谷会員	長い間欠席して申し訳ありません。	2,000円
高島会員	卓話をさせていただきました。	1,000円
当日計		3,000円
今期累計		59,000円

今週の表紙「手賀沼自然ふれあい緑道」千葉県柏市柏下(北柏橋)～片山新田(手賀曙橋)

手賀沼の南側の岸に沿って、北柏橋から手賀曙橋までの堤防を整備して作られた全長9.4kmの遊歩道です。手賀沼の自然を身近に感じながら、散策やジョギング、サイクリング等を楽しむ事ができます。途中に見晴らしデッキやあずまや等もあり、野鳥の観察も楽しめます。飛来する水鳥やヨシ原やハスの群生地等、自然を体感しながら手賀沼の四季折々の景色を堪能できる緑道です。

ロータリーの友事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。